

# 2021年度情報公開

学校法人 京都西山学園

京都西山短期大学

## 1. 教育研究上の基礎的な情報

### (1) 学科・専攻の名称及び教育研究上の目的

#### 仏教学科

本学は仏教学科の単科大学であり、その中に仏教学専攻と仏教保育専攻の両専攻が設置されている。さらに仏教学専攻には仏教コース、みらい創造コース、国際経営コースの3コースが設けられ、仏教保育専攻の保育幼児教育コースを加えると4コースに分かれている。これらのコースで学ぶ内容や進路は次の通りである。

#### ◆仏教学専攻

##### <仏教コース>

仏教コースでは、「仏教精神を通して社会に貢献できる人材の育成」を目標として掲げている。具体的には、次のような目標を定めている。

- ① 仏教の知識を深め、建学の精神である「慈悲」と「智慧」の理解をすること。
- ② 釈尊以来のインド・中国・日本の浄土教の歴史と思想の研究をすること。
- ③ 西山浄土宗・浄土宗禅林寺派・浄土宗西山深草派格派の僧侶資格を取得すること。

##### <みらい創造コース>

みらい創造コースでは、「社会で活躍するためのスキルである対人関係能力を身につけることを目標に掲げている。具体的には、次のような目標を定めている。

- ① コミュニケーション力があり、他者を敬い、心配りができるヒューマンスキルの習得。
- ② 現代の情報化社会ですぐに役立つ、オフィス系ソフトに関するパソコンスキルの習得。
- ③ 秘書技能やサービス接遇に関する資格取得をはじめ、事務職で活かせる実務スキルの習得。

##### <国際経営コース>

国際経営コースでは、「国際社会で活躍できる人材の育成」を目標に掲げている。具体的には、次のような目標を定めている。

- ① 四年制大学への編入学や進学、就職に必要な日本語能力の習得。
- ② 経営学、経済学の学びを通じた経済のグローバル化に対応し得る人材の育成。
- ③ 異文化理解に基づく日本と母国の懸け橋となる人材の育成。

## ◆仏教保育専攻

### <保育幼児教育コース>

保育幼児教育コースの目標として、「他者に対して慈悲の心で接することのできる保育者の育成」を掲げている。それは建学の精神・学位授与の方針に基づいたものであり、以下のような目標を定めている。

- ① すべてのいのちを尊重した保育の理解と、発達段階に応じた保育技術の習得。
- ② 人としての心の広さ・深さ・温かさを備えあらゆる状況に対応できる保育者の養成。
- ③ 地域社会からのさまざまな要請に応え、積極的に社会の発展に貢献できる保育者の養成。

### (2) 専任教員数

学 科	専 攻	教 授	准教授	講 師	小 計	合 計
仏教学科	仏教学	4	1	2	7	13名
	仏教保育	2	1	3	6	

### (3) 校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境

#### [キャンパス・施設紹介](#)

#### [本学までのアクセス](#)

### (4) 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用

仏教学専攻		仏教保育専攻	
入学金	200,000円	入学金	200,000円
授業料	760,000円 (年額)	授業料	760,000円 (年額)
施設設備費	200,000円 (年額)	施設設備費	300,000円 (年額)
学友会費	5,000円 (年額)	学友会費	5,000円 (年額)
保護者会費	10,000円 (年額)	保護者会費	10,000円 (年額)
初年度合計	1,175,000円	初年度合計	1,275,000円
但し、下記の通り分納することができます。		但し、下記の通り分納することができます。	
入学金	200,000円	入学金	200,000円
授業料	380,000円 (春学期)	授業料	380,000円 (春学期)
施設設備費	100,000円 (春学期)	施設設備費	150,000円 (春学期)
学友会費	5,000円 (年額)	学友会費	5,000円 (年額)
保護者会費	10,000円 (年額)	保護者会費	10,000円 (年額)
初年度春合計	695,000円	初年度春合計	745,000円
(秋学期分480,000円は10月に分納していただきます。)		(秋学期分530,000円は10月に分納していただきます。)	

※上記以外に実習費が別途必要になります。

※仏教保育専攻の場合は、保育・教育実習等にかかわる費用が別途必要となります。

※社会人入試での入学の場合は授業料減免の制度があります。詳しくは入試課までお問い合わせください。

※外国人留学生には授業料減免の制度があります。詳しくは国際交流センターまでお問い合わせください。

## 2. 修学上の情報

### (1) 入学者に関する受入方針

<p>仏教学専攻</p>	<p><b>【仏教コース】</b>          本学の建学の精神と教育理念をよく理解して、意欲と主体性を持ち、さまざまな課題に向けて自ら考え行動できる次のような学生を求める。</p> <p>① 本学の建学の精神である「慈悲と智慧」を理解し、豊かな人間性と大きな社会的視野を有する者。</p> <p>② 仏教及び浄土教の思想についての幅広い知識を基に、自ら考え、表現する技術を身につけ、社会的責任を自覚し行動できる能力を有することを目指す者。</p> <p><b>「みらい創造コース」</b>          本学の建学の精神と教育理念をよく理解して、意欲と主体性を持ち、さまざまな課題に向けて自ら考え行動できる次のような学生を求める。</p> <p>① 社会で活躍するためのヒューマンスキル・実務スキルを習得すること、また各種資格の取得に向けて、意欲を持っている者。</p> <p>② 学んだ知識を自らの将来に活かすため、さらに追求・発展させる意欲と向学心に富んだ者。</p> <p><b>【国際経営コース】</b>          本学の建学の精神と教育理念をよく理解して、意欲と主体性を持ち、さまざまな課題に向けて自ら考え行動できる次のような学生を求める。</p> <p>① 進学・就職に必要な日本語能力の向上に意欲を持っている者。</p> <p>② ビジネスに関する知識や技能の習得に意欲を持っている者。</p> <p>③ 国際社会に貢献するため、自身の成長を望む者。</p>
<p>仏教保育専攻</p>	<p><b>【保育幼児教育コース】</b>          本学建学の精神と教育理念をよく理解して意欲と主体性を持ち、さまざまな課題に向けて自ら考え行動できる次のような学生を求める。</p> <p>① 保育者として他者に対して、思いやりの気持ちを持ち、自らの心身の健康管理ができる者。</p> <p>② 保育者となるための知識と技能の習得に向けて常に学ぶ意欲と向上心を持った者。</p> <p>③ 将来保育の仕事に就き、子どもへの愛情溢れる保育者になりたいと考えている者。</p>

## (2) 教員組織等の状況

専任教員の学位、業績

### [教員紹介](#)

専任教員数（職種・年齢・性別）

	～29			30～39			40～49			50～59			60～69			70代以上			計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	2	0	2	1	0	1	6
准教授	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
講師	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	5
計	0	0	0	0	1	1	2	1	3	4	2	6	2	0	2	1	0	1	13

専任教員と非常勤教員の比率

	専任教員				非常勤 講師	占有率(%)	
	教授	准教授	講師	計		専任	非常勤
仏教学科	6	2	5	13	40	24.5	75.5

教員一人当たりの学生数及び収容定員充足率

	専任教員				学生	教員一人当たり の学生数	収容定員 充足率
	教授	准教授	講師	計			
仏教学科	6	2	5	13	153	11.8人	76.5%

**(3) 入学者数、収容人数、在学者数、卒業、(修了)者数、進学者数、就職者数**

	入学者数 (2021年度)	収容定員	在学者数 (2021年度)	卒業者数 (2020年度)	進学者数 (2020年度)	就職希望者数 (2020年度)	就職者数 (2020年度)
仏教学専攻	75	100	102	54	7	14	7
仏教保育専攻	27	100	51	20	1	20	19
計	102	200	153	74	8	34	26

## 過去3年間の入学者数推移

仏教学科	2019年度	2020年度	2021年度
仏教学専攻	73	74	75
仏教保育専攻	22	17	27
計	95	91	102
内 社会人学生	1	2	2
内 留学生	62	68	25

## 2020年度退学・除籍者数、中退率及び留年者数

退学・除籍	中退率	留年者
24	15.7%	3

#### (4) 学修の成果に係る評価

成績評価は、各科目に定められている単位数に相当する学修成果の有無やその内容を評価するために行われる。100点満点法で評価され、60点以上の評価が得られた場合にのみ所定の単位が認定される。

##### (7) 成績評価の方法

成績評価は、次の4種類の方法を基本として、これらの中、1つまたは2つ以上を合わせた評価がなされる。基本的に各科目の成績評価の方法は、その科目の授業担当者に委ねられている。なお、評価方法等、具体的内容についてはシラバスに明示されている。

1. 筆記試験による評価
2. レポート試験による評価
3. 実技試験による評価
4. 授業での取組状況や平常テストなど上記試験による評価とは別に、授業担当者が独自に設定する方法による評価

##### (イ) 成績評価の基準

成績評価は、100点を満点とし60点以上を合格、それに満たない場合は不合格とする。一度合格点を得た科目（＝既得科目）を再度履修し、改めて成績評価を受けることはできない。履修登録した科目の試験を受験しなかった場合、その試験の評価はH表記となる。ただし、このような場合でも、授業担当者が定めた評価方法により試験の評価以外により評価される場合がある。

段階評価と評点の関係は、次のとおりとする。

秀（100～90）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）

学業成績証明書は、すべて段階評価で表示し、不合格科目は表示しない。

学業成績表は、春学期（前期）分を8月下旬、秋学期（後期）分を2月下旬に配付する。

##### (ウ) 必修・選択科目別取得必要単位数及び取得可能学位

仏教学科仏教学専攻、仏教保育専攻とも専門基礎科目6単位（必修）、専門教育科目（選択）より14単位以上及び基礎科目（選択）より10単位以上を含み、総計62単位以上を2ヶ年にわたって取得した者は、短期大学士を得ることができる。

なお、保育士資格を得ようとする者は、児童福祉法施行規則第6条の2第1項の「指定保育士養成施設指定基準」に定める所定の単位の取得、また、幼稚園教諭二種免許を得ようとする者は、学校教育法第69条の2第7項に定める短期大学士の称号を有し、「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」に定める所定の単位を取得しなければならない。

## (5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に関する支援

### 就職支援

本学では学生支援室が中心となり、教学課、各専攻、国際交流センターとの緊密な連携を通じて、学生支援の活動を展開している。生き方の哲学体系でもある仏教を建学の精神とする本学では、「働く意義とは何か？」という根源的な問いに照らし、学生それぞれの動機付けを明確にさせ学生のキャリア形成を支援している。

つまり本学における教育活動と一体のものとして、入学から卒業に至るまで、さまざまな形での学生支援を位置づけ、進路調査アンケート、全学生の面談、進学ガイダンス、就職マナー講座、先輩留学生を招いての留学生ガイダンス、基礎ゼミナール、総合ゼミナールを実施している。また、「自分の将来を考える会」を開催して、学生それぞれの志望動向と資質に合わせたキャリア形成支援を行ってきた。

さらに、2018年度から卒業生の進路先の情報提供にかかわるアンケート調査を実施している。回収率が低いことなど課題があるものの、継続して調査をすることで、卒業生の動向を把握し、卒業生の進路開拓と本学の教学システム改革に資するための情報収集をしたいと考えている。

### [近年の就職実績/最近の就職先](#)

### 進学支援

本学では短期大学の課程に続き、学生の資質を伸長し、進路開拓の可能性をもたせるため、大学進学を積極的に推進している。

本学に指定校推薦枠をうけている大谷大学、追手門学院大学、佛教大学、花園大学、種智院大学、京都光華女子大学、京都ノートルダム女子大学などの入試担当者を招き、それぞれ進学先のカリキュラム紹介や進路先についての説明を受けている。また、留学生を中心に進路希望者の多い龍谷大学国際学部は別枠で進学ガイダンスを実施している。

個別のガイダンスを通じて、指定校推薦の出願方法や受験対策を行なっている。留学生に対しては、国際交流センターが中心となり、日本語文章指導などの学習支援を充実させ、さらに日本語能力の向上を図っている。

就職を希望する留学生に対しては、適格な情報収集に努め、安易な進路選択から就職が全うできず、不法滞在につながるようなハローワーク京都の留学生支援センター等と連携し、学生各人にふさわしい就職となるように努めている。

また、留学生に関して、英語能力の向上に努め、進路選択の幅を広めるよう、カリキュラムの充実と学習の機会の拡充に努めている。さらに日本語能力試験や日本留学試験、そして英語能力の測定試験である TOEIC、TOEFL の受験を促し、能力の向上を図っている。

### [近年の編入実績/最近の編入先](#)

### キャリア形成支援

キャリア形成支援に関しては、専門知識をもった職業人養成という点にとどまらず、対話を通じて、これまでの自己を振り返り、就職活動プランの立案、フィードバックを意識した総合ゼミナールの運営が必要となっている。

また、学生の自己肯定感を高め、コミュニケーション能力を開発するための職員の指導・対応が大切

である。換言すれば、就職活動をともに考える伴走者としての支援体制の強化が本学における喫緊の課題である。

短期大学では学生への教育とともに、学生生活に対する幅広い支援が求められている。学生支援は、学生の本分である学習の活性化を促すと同時に、個性豊かな人間性を涵養する上で不可欠なものであり、入学前から卒業に至る全てのプロセスにおいて、適切な措置が講じられなければならない。

このような観点から、本学では学生支援室を中心に、①学生のキャリア形成支援、②生活・学習両面にわたる支援、③大学編入に焦点をあてた日本語教育、④進学・就職にかかわる情報提供と面接をあわせたガイダンス等に取り組んでいる。

## 学生相談

学生と教職員との対話、懇話の場として、また、学生生活上、悩みや課題を抱えた学生の相談指導を行なうために学生相談室を設置しており、臨床心理士教員を学生の相談員として対応指導を行なっている。

相談員は参加する学生に対して、学習を話題にした対話を意図的に行なっている。これはノートの取り方、学習資料の整理の仕方、期日までの遂行課題等を計画的に実施する方法などを苦手とし、能力を発揮することが困難な学生のために行なっている。この企画は発達障害の一面を有する学生や基礎学力に乏しい学生にも大切な支援対応指導と考えている。障害者差別解消法が施行されたことにより、本学でも入学者が多くなると考えられる発達障害学生やパステルゾーン学生への対応になればとの考えの上で開催している。

パステルカラー学生の相談があり、相談員が話題を提供することで初めて学習への意識を持てる学生、単位を落としてから気がつく学生がいることなどが明らかになってきた。したがって、ゼミナール担当教員とも連携体制をとり指導を行なっている。

## (6) 講義内容

2021年度 開講科目とその内容

[2021年度シラバス](#)



### 3. 学校法人京都西山学園 財務情報

#### 財 産 目 録

1. 資産総額	<u>5,485,030,902 円</u>	
1) 基本財産		4,806,463,636 円
2) 運用資産		678,567,266 円
内訳 1)基本財産		
(イ) 土地 長岡京市栗生西条26番地 他74筆 計40,641㎡		1,496,796,285 円
(ロ) 建物 短期大学本館鉄筋コンクリート2階建 他		2,873,121,322 円
(ハ) 構築物		127,696,346 円
(ニ) 教育研究用機器備品		73,007,797 円
(ホ) 管理用機器備品		4,726,822 円
(ヘ) 図書		218,757,169 円
(ト) 車両		12,357,895 円
(チ) 建設仮勘定		0 円
	計	<u>4,806,463,636 円</u>
2) 運用資産		
(イ) 現金預金		559,848,666 円
(ロ) 未収入金		39,046,278 円
(ハ) 立替金		3,459,452 円
(ニ) 前払金		196,240 円
(ホ) 貯蔵品		12,265,178 円
(ヘ) 電話加入権		714,792 円
(ト) 出資金		100,000 円
(チ) 預託金		274,710 円
(リ) 第2号基本金引当特定資産		50,000,000 円
(ヌ) 退職給与引当特定預金		12,661,950 円
	計	<u>678,567,266 円</u>
2. 負債総額	<u>1,497,215,658 円</u>	
1) 固定負債		1,206,992,257 円
2) 流動負債		290,223,401 円
内訳 1) 固定負債		
(イ) 長期借入金		996,610,000 円
(ロ) 長期未払金		151,037,924 円
(ハ) 退職給与引当金		59,344,333 円
	計	<u>1,206,992,257 円</u>
2) 流動負債		
(イ) 短期借入金		53,390,000 円
(ロ) 未払金		99,747,944 円
(ハ) 前受金		114,170,250 円
(ニ) 預り金		22,915,207 円
(ホ) 仮受金		0 円
	計	<u>290,223,401 円</u>
3. 純資産	<u>3,987,815,244 円</u>	

上記は令和3年3月31日現在における当法人の財産目録である。

令和3年5月31日

監事

大高義晃 

監事

島田忠一 

京都府長岡京市栗生西条26

学校法人 京都西山学園

理事長 櫻井悦夫

# 貸借対照表

令和 3年 3月31日

全学総括

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定資産</b>	<b>4,870,215,088</b>	<b>4,983,393,251</b>	<b>△ 113,178,163</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,806,463,636</b>	<b>4,940,360,749</b>	<b>△ 133,897,113</b>
土地	1,496,796,285	1,496,796,285	0
建物	2,873,121,322	2,990,809,266	△ 117,687,944
構築物	127,696,346	135,148,279	△ 7,451,933
教育研究用機器備品	73,007,797	77,105,571	△ 4,097,774
管理用機器備品	4,726,822	4,269,657	457,165
図書	218,757,169	217,722,150	1,035,019
車両	12,357,895	18,509,541	△ 6,151,646
<b>特定資産</b>	<b>62,661,950</b>	<b>41,943,000</b>	<b>20,718,950</b>
第2号基本金引当特定資産	50,000,000	30,000,000	20,000,000
退職給与引当特定資産	12,661,950	11,943,000	718,950
<b>その他の固定資産</b>	<b>1,089,502</b>	<b>1,089,502</b>	<b>0</b>
電話加入権	714,792	714,792	0
出資金	100,000	100,000	0
預託金	274,710	274,710	0
<b>流動資産</b>	<b>614,815,814</b>	<b>763,864,936</b>	<b>△ 149,049,122</b>
現金預金	559,848,666	499,001,033	60,847,633
未収入金	39,046,278	252,262,854	△ 213,216,576
立替金	3,459,452	90,446	3,369,006
前払金	196,240	195,621	619
貯蔵品	12,265,178	12,314,982	△ 49,804
<b>資産の部合計</b>	<b>5,485,030,902</b>	<b>5,747,258,187</b>	<b>△ 262,227,285</b>

全学総括

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定負債</b>	<b>1,206,992,257</b>	<b>876,196,394</b>	<b>330,795,863</b>
長期借入金	996,610,000	650,040,000	346,570,000
長期未払金	151,037,924	169,286,436	△ 18,248,512
退職給与引当金	59,344,333	56,869,958	2,474,375
<b>流動負債</b>	<b>290,223,401</b>	<b>716,805,143</b>	<b>△ 426,581,742</b>
短期借入金	53,390,000	322,496,000	△ 269,106,000
未払金	99,747,944	254,161,583	△ 154,413,639
前受金	114,170,250	120,075,500	△ 5,905,250
預り金	22,915,207	20,072,060	2,843,147
<b>負債の部合計</b>	<b>1,497,215,658</b>	<b>1,593,001,537</b>	<b>△ 95,785,879</b>

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>基本金</b>	<b>7,637,265,987</b>	<b>7,572,882,803</b>	<b>64,383,184</b>
第1号基本金	7,458,265,987	7,413,882,803	44,383,184
第2号基本金	50,000,000	30,000,000	20,000,000
第4号基本金	129,000,000	129,000,000	0
<b>繰越収支差額</b>	<b>△ 3,649,450,743</b>	<b>△ 3,418,626,153</b>	<b>△ 230,824,590</b>
翌年度繰越収支差額	△ 3,649,450,743	△ 3,418,626,153	△ 230,824,590
<b>純資産の部合計</b>	<b>3,987,815,244</b>	<b>4,154,256,650</b>	<b>△ 166,441,406</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,485,030,902</b>	<b>5,747,258,187</b>	<b>△ 262,227,285</b>

## 資金収支計算書

令和 2年 4月 1日 から  
令和 3年 3月31日 まで

全学統括

(単位 円)

収入の部	予 算	決 算	差 異
科 目			
<b>学生生徒等納付金収入</b>	<b>812,980,000</b>	<b>803,790,990</b>	<b>9,189,010</b>
授業料収入	516,410,000	510,969,520	5,440,480
入学金収入	52,690,000	53,730,000	△ 1,040,000
施設設備費収入	63,020,000	62,995,000	25,000
教育費収入	86,660,000	86,650,000	10,000
冷暖房費収入	4,700,000	4,600,500	99,500
事務運営費収入	3,600,000	3,366,000	234,000
実験実習料収入	2,000,000	1,830,000	170,000
施設等利用給付費収入	83,900,000	79,649,970	4,250,030
<b>手数料収入</b>	<b>11,515,000</b>	<b>11,137,756</b>	<b>377,244</b>
入学検定料収入	9,910,000	9,670,000	240,000
試験料収入	700,000	412,000	288,000
証明手数料収入	425,000	584,584	△ 159,584
その他の手数料収入	480,000	471,172	8,828
<b>寄付金収入</b>	<b>22,750,000</b>	<b>22,462,515</b>	<b>287,485</b>
特別寄付金収入	15,050,000	15,462,515	△ 412,515
一般寄付金収入	2,500,000	1,800,000	700,000
教団交付金収入	5,200,000	5,200,000	0
<b>補助金収入</b>	<b>494,856,000</b>	<b>502,127,174</b>	<b>△ 7,271,174</b>
国庫補助金収入	40,996,000	45,929,600	△ 4,933,600
地方公共団体補助金収入	453,860,000	456,197,574	△ 2,337,574
<b>資産売却収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>付随事業・収益事業収入</b>	<b>39,750,000</b>	<b>37,495,989</b>	<b>2,254,011</b>
補助活動収入	27,030,000	24,874,989	2,155,011
スクールバス費収入	10,520,000	10,784,000	136,000
講習会収入	1,800,000	1,837,000	△ 37,000
<b>受取利息・配当金収入</b>	<b>53,000</b>	<b>26,934</b>	<b>26,066</b>
その他の受取利息・配当金収入	53,000	26,934	26,066
<b>雑収入</b>	<b>63,728,480</b>	<b>66,198,370</b>	<b>△ 2,469,890</b>
施設設備利用料収入	24,990,000	25,981,870	△ 991,870
私立大学退職金財団交付金収入	15,064,880	15,064,880	0
京都府私学退職金財団交付金収入	7,058,000	6,978,000	80,000
過年度修正収入	0	57,286	△ 57,286
その他の雑収入	16,615,600	18,116,354	△ 1,500,754
<b>借入金等収入</b>	<b>400,000,000</b>	<b>400,000,000</b>	<b>0</b>
長期借入金収入	400,000,000	400,000,000	0
<b>前受金収入</b>	<b>116,995,000</b>	<b>114,170,250</b>	<b>2,824,750</b>
授業料前受金収入	50,000,000	45,929,750	4,070,250
入学金前受金収入	25,220,000	23,340,000	1,880,000
施設設備費前受金収入	26,000,000	26,980,000	△ 980,000
教育費前受金収入	6,000,000	8,200,000	△ 2,200,000
事務運営費前受金収入	540,000	468,000	72,000
諸検査料前受金収入	4,675,000	4,565,000	110,000
文書手数料前受金収入	350,000	83,000	267,000
その他前受金収入	4,210,000	4,604,500	△ 394,500
<b>その他の収入</b>	<b>251,468,244</b>	<b>252,382,018</b>	<b>△ 913,774</b>
前期末未収入金収入	251,468,244	249,538,871	1,929,373
預り金受入収入	0	2,843,147	△ 2,843,147
<b>資金収入調整勘定</b>	<b>△ 153,190,380</b>	<b>△ 158,106,451</b>	<b>4,996,071</b>
期末未収入金	△ 33,114,880	△ 38,110,951	4,996,071
前期末前受金	△ 120,075,500	△ 120,075,500	0
<b>前年度繰越支払資金</b>	<b>499,001,033</b>	<b>499,001,033</b>	<b>0</b>
<b>収入の部合計</b>	<b>2,559,906,377</b>	<b>2,550,606,578</b>	<b>9,299,799</b>

全学統括

(単位 円)

支出の部	科目	予 算	決 算	差 異
<b>人件費支出</b>		<b>967,039,860</b>	<b>950,983,427</b>	<b>16,056,433</b>
教員人件費支出		691,954,760	683,428,495	8,526,265
職員人件費支出		247,822,800	242,481,412	5,341,388
役員報酬支出		3,480,000	1,285,000	2,195,000
退職金支出		23,782,300	23,788,520	△ 6,220
<b>教育研究経費支出</b>		<b>424,686,500</b>	<b>398,232,901</b>	<b>26,453,599</b>
消耗品費支出		11,950,000	12,424,753	△ 474,753
消耗器具費支出		3,520,000	2,457,232	1,062,768
光熱水費支出		23,840,000	21,015,861	2,824,139
旅費交通費支出		5,700,000	4,727,414	972,586
奨学費支出		233,500,000	233,478,687	21,313
車両燃料費支出		2,700,000	1,762,213	937,787
福利費支出		4,400,000	3,375,647	1,024,353
通信運搬費支出		8,360,000	8,194,578	165,422
印刷製本費支出		5,300,000	4,029,511	1,270,489
新聞・図書費支出		4,200,000	3,679,934	520,066
修繕費支出		27,100,000	22,786,169	4,313,831
損害保険料支出		3,510,000	2,532,703	977,297
賃借料支出		19,120,000	15,972,073	3,147,927
公租公課支出		920,000	838,894	81,106
諸会費負担金支出		3,650,000	2,700,310	949,690
会議費支出		200,000	13,062	186,938
報酬・委託・手数料支出		61,300,000	54,102,750	7,197,250
渉外費支出		500,000	335,415	164,585
行事費支出		1,160,000	522,844	637,156
生徒活動補助金支出		1,200,000	794,640	405,360
雑費支出		60,000	26,249	33,751
建物等解体撤去費支出		2,496,500	2,461,962	34,538
<b>管理経費支出</b>		<b>100,742,000</b>	<b>85,534,262</b>	<b>15,207,738</b>
消耗品費支出		3,070,000	2,472,940	597,060
消耗器具費支出		670,000	290,295	379,705
光熱水費支出		3,590,000	2,317,602	1,272,398
旅費交通費支出		4,720,000	2,278,150	2,441,850
車両燃料費支出		120,000	33,387	86,613
福利費支出		3,860,000	3,466,332	393,668
通信運搬費支出		3,200,000	2,645,976	554,024
印刷製本費支出		12,550,000	10,632,612	1,917,388
新聞・図書費支出		290,000	108,262	181,738
修繕費支出		920,000	589,193	330,807
損害保険料支出		420,000	303,728	116,272
賃借料支出		3,170,000	2,782,975	387,025
公租公課支出		7,550,000	6,680,760	869,240
広報費支出		13,400,000	9,782,447	3,617,553
諸会費負担金支出		2,540,000	2,056,093	483,907
会議費支出		250,000	89,392	160,608
報酬・委託・手数料支出		36,950,000	32,746,155	4,203,845
渉外費支出		3,250,000	997,848	2,252,152
私立大学等経常費補助金返還金支出		12,000	12,000	0
行事費支出		50,000	0	50,000
雑費支出		180,000	5,248,115	△ 5,068,115
<b>借入金等利息支出</b>		<b>7,900,000</b>	<b>6,787,059</b>	<b>1,112,941</b>
借入金利息支出		7,900,000	6,787,059	1,112,941
<b>借入金等返済支出</b>		<b>322,500,000</b>	<b>322,536,000</b>	<b>△ 36,000</b>
借入金返済支出		322,500,000	322,536,000	△ 36,000
<b>施設関係支出</b>		<b>18,000,000</b>	<b>22,841,588</b>	<b>△ 4,841,588</b>
建物支出		17,500,000	16,110,457	1,389,543
構築物支出		500,000	6,731,131	△ 6,231,131

全学統括

(単位 円)

支出の部			
科目	予 算	決 算	差 異
<b>設備関係支出</b>	<b>13,850,000</b>	<b>11,664,512</b>	<b>2,185,488</b>
教育研究用機器備品支出	9,200,000	9,452,244	△ 252,244
管理用機器備品支出	3,270,000	1,317,260	1,952,740
図書支出	1,380,000	895,008	484,992
<b>資産運用支出</b>	<b>20,500,000</b>	<b>20,718,950</b>	<b>△ 218,950</b>
第2号基本金引当特定資産繰入支出	20,000,000	20,000,000	0
退職給与引当特定資産繰入支出	500,000	718,950	△ 218,950
<b>その他の支出</b>	<b>255,229,803</b>	<b>256,416,088</b>	<b>△ 1,186,285</b>
前期末未払金支払支出	254,161,583	252,850,842	1,310,741
前払金支払支出	100,000	196,240	△ 96,240
立替金支払支出	0	3,369,006	△ 3,369,006
預り金支払支出	968,220	0	968,220
〔予備費〕	5,000,000		5,000,000
<b>資金支出調整勘定</b>	<b>△ 48,434,379</b>	<b>△ 84,956,875</b>	<b>36,522,496</b>
期末未払金	△ 48,630,000	△ 84,761,254	36,131,254
前期末前払金	195,621	△ 195,621	391,242
<b>翌年度繰越支払資金</b>	<b>472,892,593</b>	<b>559,848,666</b>	<b>△ 86,956,073</b>
<b>支出の部合計</b>	<b>2,559,906,377</b>	<b>2,550,606,578</b>	<b>9,299,799</b>

# 事業活動収支計算書

令和 2年 4月 1日 から  
令和 3年 3月31日 まで

000000: 全学総括

(単位 円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	<b>学生生徒等納付金</b>	<b>812,980,000</b>	<b>803,790,990</b>	<b>9,189,010</b>
	授業料	516,410,000	510,969,520	5,440,480
	入学金	52,690,000	53,730,000	△ 1,040,000
	施設設備費	63,020,000	62,995,000	25,000
	教育費	86,660,000	86,650,000	10,000
	冷暖房費	4,700,000	4,600,500	99,500
	事務運営費	3,600,000	3,366,000	234,000
	実験実習料	2,000,000	1,830,000	170,000
	施設等利用給付費	83,900,000	79,649,970	4,250,030
	<b>手数料</b>	<b>11,515,000</b>	<b>11,137,756</b>	<b>377,244</b>
	入学検定料	9,910,000	9,670,000	240,000
	試験料	700,000	412,000	288,000
	証明手数料	425,000	584,584	△ 159,584
	その他の手数料	480,000	471,172	8,828
	<b>寄付金</b>	<b>9,750,000</b>	<b>9,126,515</b>	<b>623,485</b>
	特別寄付金	2,050,000	2,126,515	△ 76,515
	一般寄付金	2,500,000	1,800,000	700,000
	教団交付金	5,200,000	5,200,000	0
	<b>経常費等補助金</b>	<b>494,856,000</b>	<b>498,917,174</b>	<b>△ 4,061,174</b>
	国庫補助金	40,996,000	42,929,600	△ 1,933,600
	地方公共団体補助金	453,860,000	455,987,574	△ 2,127,574
	<b>付随事業収入</b>	<b>39,750,000</b>	<b>37,495,989</b>	<b>2,254,011</b>
	補助活動収入	27,030,000	24,874,989	2,155,011
	スクールバス費収入	10,920,000	10,784,000	136,000
	講習会収入	1,800,000	1,837,000	△ 37,000
<b>雑収入</b>	<b>63,728,480</b>	<b>66,100,863</b>	<b>△ 2,372,383</b>	
施設設備利用料	24,990,000	25,981,870	△ 991,870	
私立大学退職金財団交付金	15,064,880	15,064,880	0	
京都府私学退職金財団交付金	7,068,000	6,978,000	90,000	
その他の雑収入	16,615,600	18,076,113	△ 1,460,513	
<b>教育活動収入計</b>	<b>1,432,579,480</b>	<b>1,426,569,287</b>	<b>6,010,193</b>	
教育活動収支	<b>科 目</b>	<b>予 算</b>	<b>決 算</b>	<b>差 異</b>
	<b>人件費</b>	<b>961,178,495</b>	<b>953,457,802</b>	<b>7,720,693</b>
	教員人件費	691,954,760	683,428,495	8,526,265
	職員人件費	247,822,800	242,481,412	5,341,388
	役員報酬	3,480,000	1,285,000	2,195,000
	退職給与引当金繰入額	10,009,935	18,352,695	△ 8,342,760
	退職金	7,911,000	7,910,200	800
	<b>教育研究経費</b>	<b>553,286,500</b>	<b>555,165,288</b>	<b>△ 1,878,788</b>
	消耗品費	11,950,000	12,424,753	△ 474,753
	消耗器具費	3,520,000	2,457,232	1,062,768
	光熱水費	23,840,000	21,015,861	2,824,139
	旅費交通費	5,700,000	4,727,414	972,586
	奨学費	233,500,000	233,478,687	21,313
	車両燃料費	2,700,000	1,762,213	937,787
	福利費	4,400,000	3,375,647	1,024,353
	通信運搬費	8,360,000	8,194,578	165,422
	印刷製本費	5,300,000	4,029,511	1,270,489
	新聞・図書費	4,200,000	3,679,934	520,066
	修繕費	27,100,000	22,786,169	4,313,831
	損害保険料	3,510,000	2,532,703	977,297
	賃借料	19,120,000	15,972,073	3,147,927
	公租公課	920,000	838,894	81,106
	諸会費負担金	3,650,000	2,700,310	949,690

		科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動支出の部		会議費	200,000	13,062	186,938	
		報酬・委託・手数料	61,300,000	54,102,750	7,197,250	
		渉外費	500,000	335,415	164,585	
		行事費	1,160,000	522,844	637,156	
		生徒活動補助金	1,200,000	794,640	405,360	
		雑費	60,000	26,249	33,751	
		減価償却額	128,600,000	156,932,387	△ 28,332,387	
		建物等解体撤去費	2,496,500	2,461,962	34,538	
		<b>管理経費</b>	<b>109,492,000</b>	<b>93,426,139</b>	<b>16,065,861</b>	
		消耗品費	3,070,000	2,472,940	597,060	
		消耗器具費	670,000	290,295	379,705	
		光熱水費	3,590,000	2,317,602	1,272,398	
		旅費交通費	4,720,000	2,278,150	2,441,850	
		車両燃料費	120,000	33,387	86,613	
		福利費	3,860,000	3,466,332	393,668	
		通信運搬費	3,200,000	2,645,976	554,024	
		印刷製本費	12,550,000	10,632,612	1,917,388	
		新聞・図書費	290,000	108,262	181,738	
		修繕費	920,000	589,193	330,807	
		損害保険料	420,000	303,728	116,272	
		賃借料	3,170,000	2,782,975	387,025	
		公租公課	7,550,000	6,680,760	869,240	
		広報費	13,400,000	9,782,447	3,617,553	
		諸会費負担金	2,540,000	2,056,093	483,907	
		会議費	250,000	89,392	160,608	
		報酬・委託・手数料	36,950,000	32,746,155	4,203,845	
		渉外費	3,250,000	997,848	2,252,152	
	私立大学等経常費補助金返還金	12,000	12,000	0		
	行事費	50,000	0	50,000		
	雑費	160,000	5,257,678	△ 5,097,678		
	減価償却額	8,750,000	7,882,314	867,686		
	<b>徴収不能額等</b>	<b>0</b>	<b>1,788,656</b>	<b>△ 1,788,656</b>		
	徴収不能引当金繰入額	0	935,327	△ 935,327		
	徴収不能額	0	853,329	△ 853,329		
	<b>教育活動支出計</b>	<b>1,623,956,995</b>	<b>1,603,837,885</b>	<b>20,119,110</b>		
	<b>教育活動収支差額</b>	<b>△ 191,377,515</b>	<b>△ 177,268,598</b>	<b>△ 14,108,917</b>		
教育活動収入の部		受取利息・配当金	53,000	26,934	26,066	
		その他の受取利息・配当金	53,000	26,934	26,066	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		<b>教育活動外収入計</b>	<b>53,000</b>	<b>26,934</b>	<b>26,066</b>	
	業活動外収入の部		借入金等利息	7,900,000	6,787,059	1,112,941
			借入金利息	7,900,000	6,787,059	1,112,941
			その他の教育活動外支出	0	0	0
			<b>教育活動外支出計</b>	<b>7,900,000</b>	<b>6,787,059</b>	<b>1,112,941</b>
			<b>教育活動外収支差額</b>	<b>△ 7,847,000</b>	<b>△ 6,760,125</b>	<b>△ 1,086,875</b>
		<b>経常収支差額</b>	<b>△ 199,224,515</b>	<b>△ 184,028,723</b>	<b>△ 15,195,792</b>	
事業活動収入の部		資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	13,330,000	17,587,476	△ 4,257,476	
		施設設備寄付金	13,000,000	13,336,000	△ 336,000	
		現物寄付	120,000	140,011	△ 20,011	
		施設設備補助金	210,000	3,210,000	△ 3,000,000	
		過年度修正額	0	901,465	△ 901,465	

000000: 全学総括

(単位 円)

部	科 目	予 算	決 算	差 異
特別 収 支	特別収入計	13,330,000	17,587,476	△ 4,257,476
	科 目	予 算	決 算	差 異
事業 活 動 支 出 の 部	資産処分差額	0	159	△ 159
	構築物処分差額	0	2	△ 2
	教育研究用機器備品処分差額	0	23	△ 23
	管理用機器備品処分差額	0	134	△ 134
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	0	159	△ 159
	特別収支差額	13,330,000	17,587,317	△ 4,257,317
[予備費]	5,000,000		5,000,000	
基本金組入前当年度収支差額	△ 190,894,515	△ 166,441,406	△ 24,453,109	
基本金組入額合計	△ 55,990,000	△ 64,383,184	8,393,184	
当年度収支差額	△ 246,884,515	△ 230,824,590	△ 16,059,925	
前年度繰越収支差額	△ 3,451,672,207	△ 3,418,626,153	△ 33,046,054	
翌年度繰越収支差額	△ 3,698,556,722	△ 3,649,450,743	△ 49,105,979	
(参考)				
事業活動収入計	1,445,962,480	1,444,183,697	1,778,783	
事業活動支出計	1,631,856,995	1,610,625,103	21,231,892	



## 4. 京都西山短期大学 2020 年度事業報告

### ア、経営改善計画への取り組み

#### ① 学生募集及び卒業生の進路状況

##### a 学生数の状況

過去3年間の入学者数・在籍者数は次の通りである。

各年度 5月1日現在

##### 令和元年度

	志願者数	入学者数	(内 西山高)	在籍者数	別科生
仏教学専攻	75	67	1	130	87
仏教保育専攻	27	26	17	47	
計	102	93	18	177	

##### 令和2年度

	志願者数	入学者数	(内 西山高)	在籍者数	別科生
仏教学専攻	88	74	1	144	37
仏教保育専攻	17	17	15	42	
計	105	91	16	186	

##### 令和3年度

	志願者数	入学者数	(内 西山高)	在籍者数	別科生
仏教学専攻	43	41	6	102	27
仏教保育専攻	34	33	24	51	
計	77	74	30	153	

##### b 進路の状況

令和2年度に卒業・修了した学生数は、仏教学専攻53名と仏教保育専攻25名の計78名と、別科生36名であった。各専攻等の進路状況は次の通りである。

##### 〈仏教学専攻〉

進学	12
就職	4
その他（帰国・未定等）	37

##### 進学先

- 大学 龍谷大学 5名、桃山学院大学 2名、京都精華大学 1名、佛教大学 1名、東洋学園大学 1名、東京福祉大学 1名、京都情報大学院大学 1名

##### 就職先

- 一般企業 ゴーゴー商事株式会社、西友フーズ株式会社、株式会社華匯商事
- 宗教法人 諦願寺

〈仏教保育専攻〉

就職	幼稚園	9
	保育園	8
	認定こども園	6
その他（本学科目等履修生・未定等）		2

\* 未定1名、科目履修生1名

**進学先** なし

**就職先**

- **幼稚園** 向陽幼稚園 2名、あかね幼稚園 2名、むらさき幼稚園 2名、くろたに幼稚園、光明幼稚園、安井幼稚園
- **保育園** 洛和会ヘルスケアシステム保育園 2名、下鳥羽保育園、かとう保育園、京都社会福祉協会、太田保育園、ぶどうの木保育園、神川保育園
- **認定こども園** 吉祥院こども園、あけぼの保育園、六満こども園、宇治福祉園、照隅こども園

〈別科(日本語専修課程)〉

進学	24	本科へ 14名、他学へ 10名
就職	0	
その他（本学科目等履修生・帰国等）	12	帰国（準備を含む）8名、再入国不可 3名、科目等履修生 1名

**進学先**

- **大学** 京都情報大学院大学 6名、佛教大学 1名、大阪国際大学 1名、稚内北星学園大学京都サテライト校 1名
- **短期大学** 京都西山短期大学（本科 14名、科目等履修生 1名、聴講生 0名）
- **専門学校** なし

**就職先**

- 福泰厨房

イ、教学、指導改善への取り組み

① カリキュラムの検討

令和2年度は、仏教学専攻各コースにおいてカリキュラムの検討改正が行われた。仏教コースでは、西山教義関係科目により重きを置くカリキュラムに変更することを目的に、仏教学関係科目のスリム化と西山教義関係科目の増設を行った。みらい創造コースでは、社会人としての基礎知識・教養を深めるカリキュラムに変更することを目的に、現行カリキュラムのスリム化とマナー関係科目や医療事務などの資格科目の増設を行った。国際経営コースでは、むこう3年間をかけて、国際経営コースのコアカリキュラムを導入し、それを支える基礎的な知識・技術などを学習する課程とで編成されるカリキュラム適正化

を目的に、カリキュラムの変更を行っている。

## ② FD・SD の取り組み

FD活動は、毎年、学生による授業評価アンケート調査を学期末に実施してきたが、コロナ禍により教員・学生ともに授業の準備に時間が割かれる状況から、アンケート実施を中止した。

SD活動は、FD活動と同様にコロナ禍への対応に苦慮し、研修の実施に至らなかった。

## ③ 高大連携の取り組み

京都西山高等学校と本学保育幼児教育コースとの間で単位互換授業として「基礎音楽」と「児童文化」を開講した。2年生対象の「児童文化」を3名が、3年生対象の「基礎音楽」を7名が受講した。

## ウ、留学生の受け入れと教育指導の対応

令和2年度の留学生受け入れは、新型コロナウイルスによる影響を受け、4月に入学見込みであった海外からの51名（別科37名、本科1名、科目等履修生13名）が入国出来ず、別科生は2019年秋入学の37名のみとなった。4月入学見込み学生の内、35名は入学意思を持っていたため、秋学期に学籍を立て、オンライン授業を開始した。11月に入国規制の緩和により34名が入国できたが1名は再度規制がかかり未入国のままである。本科「国際経営コース」には別科より49名が進学し、国内から20名の入学があったが、オンライン授業やアルバイト等、コロナウイルス関連の様々な問題により、年度内に17名が退学している。

## エ、学内教育施設、環境整備への取り組み

教育施設・環境設備としては、大阪北部地震（平成30年6月）で被害を受けて亀裂の入った本館の壁を修理・塗装して学生や教職員に安心感を与えることができた。また、夏休み中には雨漏りがひどい図書館の屋根を修理して図書館の閲覧使用が安全になった。昨年度述誠館食堂回り、本館学生ラウンジ、図書館閲覧室での学生向けwifi環境を整備したが、今年度はコロナ対策でオンライン授業対応のスタジオ設置や、各教室への有線LANの配備・設置への投資、教職員用のデジタル複合機の総入れ替え・増設などの投資、検温器、アルコール消毒噴霧器、アクリル板設置、スクールバスの強制換気装置の設置などを行った。

## オ、財政状況

収入の部	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生生徒納付金	219,497	254,720	282,600	272,110	228,430
補助金	53,786	49,019	59,577	46,440	43,608
前受金	84,990	77,871	92,439	59,602	54,008
前年度繰越支払資金	39,624	49,940	60,089	129,441	130,883
支出の部					
人件費	166,009	160,242	156,661	188,706	180,676
比率 人件費／教育活動収入計	53.6%	47.7%	41.5%	49.6%	56.2%
教育研究経費	81,056	91,043	86,980	85,245	92,344
管理経費	30,873	34,107	41,175	43,770	36,391
施設関係経費	1,285	0	124	0	664
設備関係経費	1,434	33,467	2,333	1,875	6,094
翌年度繰越支払資金	49,940	60,089	129,441	130,883	133,265

\* 単位は千円

平成30年度の翌年度繰越金が初めて1億円を超えた。令和元年度の翌年度繰越金も1億3千万円となり、キャッシュフロー的にはようやく少しゆとりができた、と昨年報告した。令和2年度はコ

コロナ禍等で学生数は減少し、いろいろと短大改革に投資したので、収益的には悪化した面もあるが、翌年度繰越支払資金は若干ながら増加したので少し安心の要素もある。引き続き学生募集対策に全力を注ぎ、必要な教育環境の改善に投資していき、財政状況が安定した段階で現在の給与カットの状況の改善を目指す。